

JAきたみらい

おひさま サタダ

2019



vol.196

5

はいっ ポーズ!

《訓子府地区・福野》
中村裕一さんと一稀くん

(紹介は2ページです)

特集

第16回きたみらい農業
協同組合通常総代会



玉葱の定植作業 スタート

季節の薫り



初夏を思わせる気温が続いた4月下旬、きたみらい管内で玉葱の定植作業が一斉に始まりました。今季は冬場の降雪量が少なかったものの、寒さが一段と厳しかったことで土壌凍結が進みましたが、4月に入って気温も上昇し、例年通りのスタートとなりました。

昨年は、6月からの低温、日照不足、長雨により生育は停滞、天候不順が続いたことで病気の発生もみられましたが、生産者の栽培技術や普段からの土づくりにより、平年作を上回る収量を確保しました。

きたみらい玉葱青年部理事の杉山正樹さんの圃場では20日から今年の定植作業を始めました。順調に作業が進めば10日間ほどで作業は終了とのことで、杉山さんは「災害なく、高品質な玉葱を消費者に安定して供給したい」と意気込みを語ってくれました。(大石 友和)



写真は4月22日、訓子府地区で撮影。当JA管内の玉葱作付面積は約4,600㍏、収穫量は約27万7,000㍏を見込む。

表紙紹介

健康で元気にのびのびと

中村家を訪ねるとお母さんといっしょに恥ずかしそうに出てくれた一稀くん。最近、仮面ライダーと新幹線変形ロボ「シンカリオン」に夢中。テレビを見ている最中は、テコでも動かないほどの夢中ぶり、この日もシンカリオンを見てから写真撮影に来てくれました。撮影中は、場を和ませるほどのやんちゃな一面を見せてくれました。最近になって、周りの言っていることを理解し始め、お父さんもお母さんも一稀くんの成長に喜びを感じていました。

好きな食べ物、ハンバーグやハンバーガーの他に納豆など、色んな食べ物が好きとのこと。特にフルーツであれば何でも食べるそうです。でも、おじいちゃん作るメロンが一番好きだと教えてくれました。

撮影終了後、元気に保育園へ出かけていきました。

お父さんの裕一さんは、「健康で元気に育ってくれば」と穏やかな表情で答えてくれました。

(大石 友和)



【ご家族紹介】
左から～お母さんの直美さん(41)、長男の一稀くん(3)、お父さんの裕一さん(40)、おじいちゃんの一博さん(63)、おばあちゃん的美恵子さん(63)、おじさんの翔梧さん(36)
中村一博さんは秋小麦、小豆、てん菜、馬鈴薯、スイートコーン、メロン、カリフラワーなど約33%を作付けしています。

もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング………	24
「ゴボウとレンコンのキーマカレー」 「カツオのサラダ仕立て」	16
○JAからのお知らせ………	14
○ほのぼの広場………	12
・きたみらい青年部 ・記念の一枚 ・プリティーウーマン ・わが家のアイドル	2
○表紙紹介………	2
「健康で元気にのびのびと」	2
○地域だより………	2
○季節の薫り………	2

特集
第16回きたみらい農業
協同組合通常総代会

第5次地域農業振興方策並びに中期経営計画の設定を言めた提出議案11件承認

第16回JAきたみらい 通常総代会を終える

J Aきたみらいは、4月10日、北見市のホテル黒部で第16回通常総代会を開き、総代384人（本人280人、代理5人、書面議決99人）が出席しました。提出した11議案を可決し、「J A北海道大会決議事項の着実な実践を通じた自己改革の取り組みに関する特別決議」を満場一致で採択しました。



▲開会挨拶を述べる西川組合長



▲行政を代表して祝辞を述べる菊池一春訓子府町長



▲連合会を代表して祝辞を述べる今野貴紹
組合連合会北見支所長

により一部作物で収量の減少や品質低下を余儀なくされた年となった。そのような厳しい環境下でも総じて平年作の収穫量を確保できたことは、組合員各位の長年にわたる生産基盤の整備と営農努力によるものである。さらに組合員各位の積極的なJA事業の結集により当期末処分利益剰余金7億8千万円を計上することができた。これもひとえに関係機関のご指導、ご支援に対するものであり心より感謝する。また、平成31年度から始まる第5次地域農業振興方策並びに中期経営計画の実践に伴い、『集えひとしに!!心と地域の豊かさ求めて』をスローガンに経営資源と機能の総力を結集し積極的に取



▲JA綱領を朗唱する総代のみなさん



▲北海道報徳社より「報徳善行賞」を受賞した鳥山勝見さん（訓子府）



▲議長を務めた中島英樹さん（端野、左）と西野繁さん（上常呂、右）



▲▼質疑をする総代の方々

り組む。」と力強く決意を述べました。引き続き、来賓を代表して菊池一春訓子府町長、今野貴紹ホクレン農業協同組合連合会北見支所長より祝辞を受けた後、2名の議長（端野地区の中島英樹さんと上常呂地区の西野繁さん）を選任し議案審議に入りました。

定款、監事監査規定の変更や30年度事業報告・剰余金処分案、31年度事業計画など全11案件の議案が審議され原案通り可決決定されました。30年度の農畜産物販売取扱実績は計画比8・3%増の約460億5500万円と報告。31年度農畜産物取扱高を約431億8900万円とする事業計画を決定しました。さらに、今年度が実践初年度となる第5次地域農

業振興方策並びに中期経営計画の設定も承認されました。

総代からの質疑では「剰余金処分案における目的積立金の取崩基準」や「出資金の平準化」、「中期経営計画に係る費用」などの質問や意見が出されました。

また、JAきたみらいフレッシュミズ仲山美知会長より「JA北海道大会決議事項の着実な実践を通じた自己改革の取り組みに関する特別決議」が朗唱され、満場一致で採択されました。



▲議案に挙手で賛成を表明する総代のみなさん

最後に大坪専務の閉会挨拶の後、午後2時03分に全日程が終了しました。



▲議案を説明する高橋常務（左）、佐藤常務（中央）、齊藤常務（右）



▲監査報告する和田代表監事



▲閉会挨拶を述べる大坪専務

豊かな地域 づくりを目指して

常務理事

齊 藤 和 雄



この度の第16回通常総代会で理事として選任され、翌日の臨時理事会において再度、総務・営農担当常務を仰せつかりました。職責の重大さに身の引き締まる思いではありますが、「組合員皆様の営農と生活を守り高める」の協同組合の理念のもと、きたみらい農協の更なる発展を目指すべく、甚だ微力ではございますが専心努力する所存でありますので、今後も一層のご指導・ご鞭撻をお願い致します。

さて、先般行われました通常総代会にて、第5次地域農業振興方策並びに中期経営計画が承認されたところです。今後においても、協同の成果と組合員皆様方の結集力で所得の向上と地域への貢献を図り、将来を担う子供達が地域に住みたい、就農したいと思えるような豊かな地域作りを柱に振興計画が作成されております。今我々の抱えております労働力不足の解消と新規担い手の確保、農地の流動化等、様々な課題についてもより具体的に提案しながら、組合員皆様の期待に応えられる農協として事業運営してまいりますので、併せて皆様のご理解とご協力をお願い致します。

結びとなりますが、農作業事故にはくれぐれも注意され、皆様方のご健勝と、令和元年が豊穡の出来秋を迎えられますことを心からご祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

組合員の皆様方と ともに食を支える使命を果たす

代表理事専務

大 坪 広 則



この度の第16回の総代会において理事として選任され、臨時理事会にて再び代表理事専務として選任され、あらためて責任の重さを痛感しているところであります。

今まで常務理事として6年、専務理事として3年の責務を果たせたのも、組合員皆様方のご理解とご協力の賜物と心から感謝申し上げます。新規一転、新たな気持ちでこの重責を担って参る所存でありますので、引き続き皆様方のご指導・ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

現在、農家経済を揺るがすような国際貿易協定交渉が次々と続いており、様々な課題が山積する環境であります。これからの時代を担う世代が少しでも安心して、営農に専念出来るような環境の整備を念頭におき、一つひとつ課題を整理してまいりたいと考えております。

今回の総代会において、「集え一つに、心と地域の豊かさを求めて」をテーマとした、「JAきたみらいの「第5次地域農業振興方策並びに中期経営計画」が承認されたところであります。これからの農業・農協を取り巻く環境は、益々厳しさを増すことが予想されますが、我々食糧を生産する者として共に課題を共有し、現場からの声をしっかりと発信しながら、組合員の皆様方とともに、この「地域農業振興方策」ならびに「中期経営計画」を着実に実践して行くことが、今後のきたみらい地域の農業振興に欠かすことの出来ない重要なことと考えます。

やはり、1次産業が元気でなければ、この地域の豊かさもあり得ないと言っても過言ではないと思います。そのためにも、生産基盤をしっかりと確立し、「安心・安全」な農畜産物を安定的に生産し、安定供給することが我々の使命と考えます。生産者の所得向上は当然のことではありますが、少しでもその使命を果たすために、地域に貢献できる農協事業運営となるよう、JA役職員一丸となって取り組んでまいります。

「魅力あるJA、選ばれるJA、貢献出来るJA」を合言葉に「組合員のため、組合員による、組合員と共に」を基本に持続可能な農業を目指して参りますので、今後も今まで以上のご指導よろしくお願い申し上げます。

最後に組合員皆様の更なる活躍で今年度が素晴らしい天候に恵まれ、実り多い出来秋であります事をご期待ご祈念申し上げます就任のご挨拶と致します。

子どもたちが住みたい、 就農したいと思えるような地域の姿を目指して

代表理事組合長

西 川 孝 範



この度、第16回通常総代会においてあらためて理事として選任され、臨時理事会にて代表理事組合長の指名を賜り、就任することになりました。

平成20年6月より代表理事組合長として組合運営の重責を担い、その責務の重さにあらためて身の引き締まる思いであります。

現在、農業・JAを取り巻く情勢においては極めて大きな変化の中にあります。国際貿易交渉においてはTPP11や日欧EPAが発効し、今後は日米物品貿易協定(TAG)の交渉開始に向けた動きが進むものと予想されます。農業を犠牲にしないよう確固たる貿易交渉姿勢の堅持を政府に働きかけ、情報開示を求めながら生産者の不安を払拭し、若い農業者が未来に向けて希望を持ち続けられるような農業の確立に向け、万全な対応がなされるよう要請して参ります。

農協改革については、その主要な目的である法改正と農業所得向上との関連性などの理解が十分に進まない中、地域住民の生活にも影響が出かねない准組合員制度の在り方などの重要案件が今後の検討課題となっております。地域社会全体への影響がないよう、皆様方と力を合わせながら関連する取り組みを推進して参ります。

このような環境の中、当JAでは今後も出向く事業体制を基本姿勢としつつ、令和元年度から始まります第5次地域農業振興方策並びに中期経営計画では、「組合員とともに、組合員による、組合員のため」を原点として、『集えひとつに！！』心と地域の豊かさを求めて」をスローガンに年次別の実施方策を掲げ、将来を担う子どもたちが地域に住みたい、就農したいと思えるような農業・地域の姿を目指すべく、経営資源と機能を結集し積極的に取り組んで参ります。組合員の皆様方には、更なるJAへの結集をお願い申し上げます。

結びになりますが、今後も持続可能な「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の実現を目指し専心努力する所存でございますので、何卒倍旧変わらぬご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶とさせていただきます。

就任のご挨拶

特別決議を満場一致で採択

▶特別決議文を読み上げる
JAきたみらいフレッシ
ユミズ中山美知会長



JA北海道大会決議事項の 着実な実践を通じた自己改 革の取り組みに関する特別 決議

JAグループ北海道は、昨年11月に第29回JA北海道大会を開催した。大会では、「農業所得増大」「担い手確保・育成」「サポーターづくり」など、前回大会の決議事項を継承し加速・拡充していくこと、協同組合の原点を改めて見つめ直し「新たな協同組合」の姿を継続的に討議していくことを決議した。

我々は、政府が主導する農協改革に対し、改革は自ら行うものとして、平成26年に定めた「JAグループ北海道改革プラン」を皮切りに、JA北海道大会での決議を通じて、真に組合員のためとなる改革を不断の行いとして取り組んでいく。

組合員・JA・連合会・中央会の各々が、役割を再認識するとともに、将来ビジョンである「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現に向けて、共同の力と総合力をフルに発揮し、一丸となって大会決議事項の着実な実践を通じた自己改革に取り組むものとする。

以上、決議する。

平成31年4月10日
きたみらい農業協同組合

総代からの質問・意見

提案された議案について4人の総代より以下の内容に関して質問や意見がありました。

議案第3号

・剰余金処分案における目的積立金の取崩基準について

議案第4号

・第5次地域農業振興方策並びに中期経営計画について
・出資金平準化について
・中期経営計画に係る費用について

常勤監事 就任にあたって

常勤監事

宇野 広 勝



環境が激変する中で常勤監事2期目を迎えることになりました。新たな気持ちで改めて、当組合が名実とともに、日本でもトップクラスの組合を目指すように監事としての役割を忠実に果たしてまいりたいと思っています。監事の仕事は、理事の職務を監査することであり、総代会の監査報告書に記載された内容についてしっかり仕事することです。

ご存じのとおり、平成28年農協法改正により、本年度から中央会監査から公認会計士による会計監査人制度に代わり、監査環境が大きく変わってまいります。

会計監査人監査は、業務報告の監査を行わず、会計監査の証明に特化することになり、業務報告に係る監査の領域は、監事や内部監査部門が主体的に行い、監事だけが総代会において証明することになります。

また、監査の所管が農林水産省から金融庁の所管に移管することになり、まさしく組合自体の運営がグローバル化、競争社会の中でどう対応していくのが重要であります。

このような社会環境下において、理事の職務の高度化につれて監事の職務も年々高度化・複雑化しており、また、監査を巡る判例等が多くあり、改正が進んでおります。監事の果たす使命は非常に大きくなっていることを感じております。

J Aきたみらいが組合員、地域、取引関係者等から名実ともトップクラスのJ Aといわれるために、J Aのガバナンスでは、経営と監査は重要な両翼であります。

監事が出すきてもだめですが、何もしないことも不作為責任を問われることになります。

特に危機に瀕している現在の社会環境下では、リスクの中で事業運営が迫られており、経営と監査は、バランスの取れた運営が重要になります。

何もしなければ頓死をしてしまう。過ぎれば、経営上のリスクをとることになります。

微妙な塩梅が、重要であります。そのうえで、我々、監事は何事にもふれずに、監査を行うことが重要であります。

これらを踏まえ、私たち監事会は、監査の品質確保の上で「監事の使命」を策定し、監査を行うことを確認しました。

監事は、J Aきたみらいの経営理念に基づき公正・不偏の姿勢を貫き、J Aきたみらいが「安心・安全な食料の供給基地・産地」としての役割、組合員とともに次の世代につなぐ「我が国の環境を守ること」や、「組合員の幸福を求めるうえで地域社会における重大な役割を果たすこと」が社会的責任であることを認識したうえで、理事の職務執行を監査するものとする。

監事として使命を認識し、過去と現在と将来のバランス、組合の利益と社会貢献とのバランス、利害関係者間のバランスなどを踏まえつつ、J Aきたみらいの経営理念が達成できるようしっかりとした監査に取り組んでまいりたいと思います。

また一期お世話になります。

若者たちに継承 できる基盤づくりを目指して

代表監事

南 博 敏



この度、第16回通常総代会におきまして監事に再任され、続く監事会において代表監事の選任を受け就任致しました。

学識経験者の監事を2名に増員したとはいえ、これまでの監事定数から1名減となる新体制でのスタートに、その職務の重大さに身の引き締まる思いであります。

また、任期満了により退任されました和田前代表監事・柏原前監事・川岸前監事の諸氏におかれましては、過分なるご教示をいただき感謝申し上げます次第であります。

さて、農業・農協を取り巻く情勢は、国内外を問わず、どの時代にも厳しい状況の中にあるのが実情です。そのような中でも、先祖代々の農地を守り、若者たちが夢と希望を持ち続けられるような農業の基盤づくりが、我々農協役職員の役目であると考えております。

J Aきたみらいでは、組合員と地域を守るために、これまでと同様に信用事業を自前で運営する「総合農協」として継続していく方針をいち早く打ち出しております。そのためには、公認会計士への移行を含め、経営の透明性が今まで以上に求められることとなりますが、「全ては組合員等利用者のため」を念頭に置きながら、我々監事5名が共に、公正不偏の立場で監査業務を行うことにより、地域農業の振興と農協事業運営の発展に貢献して参りたいと考えておりますので、組合員皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。

結びになりますが、本年、組合員ご家族の皆様ならびに役職員の皆様方のご健勝と、本年の豊穰の出来秋をご祈念申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

地域に貢献 できる信用事業を目指して

常務理事

越 田 喜 裕



このたびの役員改選により、信用担当常務を拝命いたしました。身に余る職責ではありますが、組合員の皆様の生活と営農活動を側面からしっかりと支えてまいりたいと思いますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

さて、第16回通常総代会でご決議頂きました第5次地域農業振興方策並びに中期経営計画の実践初年度となりましたが、農協を取り巻く信用事業の環境は経済の全般的低迷、日銀の低金利政策による利ザヤの縮小、TPP関連対策によるリース事業などによって更なる融資事業の縮小が見込まれるとともに、共済事業においても少子高齢化による加入者の減少とネット保険などを含めた国内外の保険業界との競争激化など経営環境は大変厳しい状況にあります。

また、農協改革においては准組合員利用規制に対して農林水産省が結論を出す期限の令和3年3月末が迫っていますが、かかる規制によっては現状の実態からみても信用・共済事業への痛みが必至であり、道民550万人サポーターづくりなどによって農業・農協組織の応援団を増やし、地域から求められる組織として事業推進をしていかなければならないと考えます。

そのためには、信用・共済事業を通じて、地域活性化への貢献とJ Aサポーターの拡大を図り、幅広いニーズに対応した事業推進によって地域の方々に選ばれる存在を目指し、“出向く推進”による事業展開をさらに進めていくことが不可欠な取り組みであると確信しています。

今後においても、農協を取り巻く環境が厳しくなることが予想されますが、非力ながらも誠心誠意努めてまいりますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

農業と共に そして地域と共に

常務理事

高 橋 優



この度、第16回通常総代会において改めて理事として再任いただき、翌日の臨時理事会において販売・購買担当常務理事に就任致しました。今までの6年間、組合員各位のご指導とご協力のもと、その任を務めることが出来ましたことに心より感謝申し上げますと共に、今後より一層組合員の皆様の負託に応えられるよう努力して参る所存であります。

前期就任の際は新自由主義を掲げた政府が経済最優先へ舵をきろうとしていた最中であり、それから3年が経過しTPP11、日欧EPAの発令と日本農業も国際社会の渦中にあるのが現状であります。

世界的な人口増加の中で日本の人口は減少の一途を辿っています。現在日本に輸入されている農畜産物が世界の人口増加によって仕向け先が大きく変化することも予測されますし、近年地震等の自然災害が頻繁に発生し、その度に国内における食料確保の重要性を強く感じています。このことから食料基地北海道の一翼を担い、きたみらいの農畜産物を全国民に安定的に届ける責任を強く感じるところであります。

こういった世界規模での農業情勢の変化も注視し、総代会でご承認頂きました第5次の農業振興方策の確実な実践を進めて参ります。

販売事業においてはマーケットや生活環境の変化を見据え、国内への流通を第一義とし、且つ海外のマーケットも視野に入れ、多様な消費地要望に応えられる産地として柔軟に且つ挑戦的な攻めの販売を目指して取り組んで参ります。

また購買事業においては更なる「安価」「安定」「安心」を届けることは勿論、有益情報、サービスの提供を重点課題として事業執行に全力で取り組んで参る所存であります。

組合員各位が安心して農業に傾注できる様、J Aとしての役割、役員としての重責を改めて自覚し、組合員の皆様の結集を大きな事業推進力として、喜んでいただける販売、購買事業を目指します。

また当J Aの農業は基幹産業であり、地域と共に発展してきた経過があります。これからも「心と地域の豊かさ」を求めて持続的な農業振興、地域振興に努めて参ります。

結びにあたり、本年は令和元年であり、新しい時代の幕開けにふさわしく、組合員の皆様のご健勝で豊穰の秋を迎えられます様ご祈念申し上げます、就任のご挨拶にかえさせていただきます。

新体制がスタート 3年間、一致団結し勇往邁進

4月10日の第16回通常総代会において、新しい役員が選任されたことに伴い、翌日の臨時理事会及び理事・監事会において向こう3年間の新執行体制が決定されましたのでお知らせします。(○は地域運営委員長)

理事

 常務理事 越田 喜裕 (新) (学経)	 常務理事 高橋 優 (学経)	 常務理事 齊藤 和雄 (北見)	 代表理事専務 大坪 広則 (訓子府)	 代表理事組合長 西川 孝範 (端野)
 理事 ○小野 洋一 (訓子府)	 理事 ○伊藤 稔 (温根湯)	 理事 ○山内 幹司 (端野)	 理事(営農専門委員長) 藤森 光秋 (訓子府)	 理事(総務専門委員長) 林 政則 (相内)
 理事 寺崎 博 (端野)	 理事 河野 栄 (上常呂)	 理事 宮下 尚樹 (北見)	 理事 澤山 一之 (留辺蘂)	 理事 東海林 正幸 (釧路)
 理事 溝井 雅幸 (新) (釧路)	 理事 伊藤 正一 (新) (上常呂)	 理事 松井 秀樹 (新) (相内)	 理事 小野 俊浩 (新) (北見)	 理事 齊藤 博行 (新) (訓子府)

監事

 監事 平川 千春 (端野)	 常勤監事 宇野 広勝 (学経)	 代表監事 南 博敏 (訓子府)
 監事 北村 好孝 (新) (学経)	 監事 牧野 篤嗣 (新) (温根湯)	



新しい ステージに向けて

前・代表監事

和田 恭明



今回の役員改選にあたり、監事職を退任することになりました。平成15年2月にきたみらい農業協同組合が誕生した時、理事として参加させて頂き理事4年、監事12年という中で多くの組合員、そして役職員の皆様には多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。特に監事という立場上、各地区事務所の職員の皆様にご協力をして頂いた事は心に残る思い出であり感謝するところであります。合併から16年たった我々“きたみらい”ですが、今日まで多くの役職員・多くの組合員の努力の下、8が4になり4が2になり、そしてひとつの成熟した“きたみらい”になりました。この事を間近で役員として見てこられた事は、私の中で誇りであり感慨に値する事です。

さて、この4月で平成が終わり令和の時代がやってきます。そして農協の監査も中央会監査から公認会計士監査へと変わります。しかしながら農協の礎、組合員の生活は平成だろうが令和だろうが変わりません。そこにはいつも通り種を蒔き育てていき実りを収穫する。16年間変わらずそうしてきました。監事監査も同じように変わらず公正に、偏らず“公正不偏”を貫いて行ってほしいと思います。その為にも多くの役職員との対話、組合員とのふれあいを大事に、監事監査を進めていって下さい。

最後に今回新しい役員体制が整いました。どうかその中で農協を取り巻く様々な問題を解決し、今よりもっと上の農協を目指して下さい。総代会で第5次地域農業振興方策並びに中期経営計画が可決されました。2023年にはこの事が達成され新しいステージの“きたみらい”が完成されている事を祈念します。

16年の長きに亘り力不足の私を支えてくれた皆様に感謝申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

環境変化を 経営革新のチャンスに

前・常務理事

佐藤 浩



早春の候、組合員・ご家族の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび4月10日の第16回通常総代会をもちまして、任期満了によりきたみらい農業協同組合の常務理事を退任いたしました。

顧みますと、昭和54年に旧端野町農業協同組合に入組以来、平成15年2月の合併により現きたみらい農業協同組合の職員として、さらには平成25年から常務理事として、微力ではありましたが北見地域の農業振興、地域発展に携わることができました。

この間、組合員の皆様の暖かいご支援とご協力に支えられ、今日まで務めることができましたこと、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

組合員並びにご家族の皆様方におかれましては、TPP11、日欧EPA等ますます広がるグローバル経済の下で、農業経営を維持し発展させることが厳しい局面も予想されますが、反面、経営の革新を図るチャンスでもあると思います。これからもますます、経営の向上と安定化をはかりながら、農協とともに農業の発展、地域の活性化に貢献し続ける事をご祈念申し上げます。あわせて第5次中期経営計画で掲げたスローガン「集え一つに！心と地域の豊かさを求めて」が現実となることを願うところです。

これからは一地域住民の立場で、今までの恩返しができればと思っています。

末筆ながら、これまでのご厚情に感謝申し上げます。皆様方のご健勝とご多幸をお祈りし退任のご挨拶といたします。

退任のご挨拶

JAきたみらい青年部西支部（坂下祐太支部長）は4月5日、温根湯地区事務所で開催しました。講師に瀬下代表取締役（スペースアグリ株式会社）と畠山調査役（ふれあい南G）を招き、同社と当JAで取り組んでいる衛星リモートセンシングデータの活用方法や今後の展開について学びました。また、今回の学習会では地域一体となって情報の共有をしていくことを目的に、部員だけでなく地域の生産者にも呼びかけを行い、部員・生産者含めて総勢33名が参加しました。

説明では、当JAでの取り組み結果や可変施肥システムの効果について触れられ、今後当JAでも導入されるということもあり、参加者は熱心に耳を傾けていました。

坂下支部長は「生産者を含めて学習会をすることは、部員間ではできない情報交換のきっかけになる。今後もこのような活動を青年部主催で企画していきたい」と今後の青年部活動に対して意欲的に話してくれました。

（菊池 光祐）



▲講師の説明に耳を傾ける参加者のみなさん

西地域 温根湯 地域生産者を交えて学習会

～JAきたみらい青年部西支部～



▲開会の挨拶を行う支部長の安斉里実さん

東地域 北見・端野・上常呂 全体会議を通じて楽しい活動計画を決定

～JAきたみらいフレッシュミズ東支部～

JAきたみらいフレッシュミズ東支部（安斉里実支部長）は4月12日、センター事務所第1回全体会議を行い、会員12名が出席しました。

東支部設立報告会以来、会員が集まるのはこの日が初めてで、合併初年度の活動内容について計画を立てました。

夏期研修会の日時や内容について話し合いを行い、今年は北見・端野・上常呂のフレッシュミズ未加入者にも呼びかけを行うので、参加をお待ちしております。

安斉支部長は「今後の活動内容についてたくさんの意見があがり、楽しい研修になりそう。東支部スタートの年度として、思い出に残る一年にしたい」と、話してくれました。

なお、夏期研修会には東地域（北見・端野・上常呂）のフレッシュミズ未加入者にも呼びかけを行うので、参加をお待ちしております。（大橋 弥生）



地域だより



きたみらい酪農青年部（相馬広治部長）は4月22日、訓子府町のホクレン訓子府実証農場でバーンミーティングを開催しました。

バーンミーティングとは牛や牛舎設備を実際に見学し、飼養管理などの意見交換をするものです。当日は部員20名が参加。同農場の篠原農場長から取り組んでいる試験や研修制度について説明を受けた後、牛舎施設内の見学を行いました。

この日、見学を終えて相馬部長は「実証農場がどのようなことに取り組んでいるか知ることができた。今後、酪農経営をしていくうえで大切なことも聞けたので良かったと思う」と話しました。

（菊池 光祐）

南地域 訓子府 ホクレン実証農場でバーンミーティング

～きたみらい酪農青年部～



▲施設の説明を聞く部員のみなさん

南地域 訓子府 交通安全マスコット子ども達の手元へ

～JAきたみらいフレッシュミズ訓子府支部～



◀帽子に付けている児童



▶ランドセルに付けている児童

JAきたみらいフレッシュミズ訓子府支部（森梓支部長）は、伝統行事として作成している「手作り交通安全マスコット」を訓子府神社にて玉串拝礼を行い、訓子府小学校・居武土小学校の小学1年生、認定こども園の全園児合わせて230個を寄贈しました。

毎年役員でデザインを考え、会員で作成しているマスコット。今年のデザインは子ども達が更に笑顔になりますようにと願いを込めて、黄色いスマイルちゃん！

ランドセルや帽子に付けていた児童らは「スマイルちゃん、とてもかわいい！」と笑顔で話してくれました。

森支部長は「子ども達が付けている姿をみると嬉しい。会員らで協力して作った甲斐があった。年々作る個数が増えているのは嬉しい悲鳴です。今後は事故が発生しないように子どもだけではなく、周りの大人も気を付けていかなければいけない」と話してくれました。（大橋 弥生）

きたみらい
青年部



青年部の基盤は
部員間交流！

北見地区・大正

萩原 涼太さん(34歳)

●農業を選んだ理由

小さい頃からトラクターやコンバインが好きで自分で運転したいと思ったからです。

●農業にける思い

安定して作物を作る事と、次の世代にうまくバトンを渡せるよう日々努力したいと思っています。

●JAきたみらい青年部に求めること

自分が所属する支部部員だけではなく、他の支部の部員とも積極的に交流ができるような組織になってほしいと思います。

●自分の支部の活動自慢

東支部では地域行事への参加や生産部会ではできない多目的な学習会、さらには合併2年目(端野・上常呂・北見)であるため、積極的な部員間交流を行っています。

また、それぞれの地区の活動を1つにまとめ、部員間で団結し支部事業を進めています。

今回はJAきたみらい青年部東支部の萩原涼太支部長に登壇いただきました。

(織田 和訓)

記念の一枚



▲3日間天日干した青シソのはさ掛け作業

シソ作付けの思い出の写真
～手間がかかり大変な作業です～

端野地区・北登

五十嵐 武さん(68歳)



この写真は五十嵐さんの奥さん真知子さんが撮った刈り取り後のはさ掛け作業写真です。

30年以上前からシソの作付けをしており、北登にあった薄荷蒸留所の再利用も兼ねて有志4名で始めました。当初から除草剤が使えず草取りに大変苦労し、はさ掛け作業も重労働だったそうです。五十嵐さんは、「大変手間がかかる作物なので、契約栽培の面積を維持していくのが大変だ」と話してくれました。

今も息子さんの農作業を手伝いながら、シソの作付け作業を行っています。

(辻本 均)

Pretty Woman
ウーマン



心強い仲間づくりが
できる場を作りたい

訓子府地区・日出

細川 美重子さん(60歳)

今回は女性部訓子府支部の細川支部長に登壇いただきました。(菊池 光祐)

◆旦那さんとの出会い、結婚に至るまで

お互い地元は訓子府町でしたが、話したことはなく、大人になってから青年団で初めて顔を合わせました。話すうちに夫の優しさを感じてお付き合いをするようになりました。2年間ほどの交際期間を経て結婚し、現在は家族で協力をしながら農業を営んでいます。

◆趣味は？

ヨガと読書です。ヨガはどんなに忙しくても週に1度開催される教室に参加し、ストレスの発散と疲れの解消につながっています。読書は、農閑期によく読んでおり、中島京子さんの作品が好きでお気に入りです！

◆ご自身はどんな性格だと思いますか？

明るい性格だと思っていますが、周りからはもしかしたらうるさいと思われるかもしれません……。また、自分自身に対することは打たれ弱いかもしれないですね。

◆女性部活動で楽しいこと、今後の抱負は？

女性部活動として集まるのは年に数回ですが、地域の女性農業者と知り合うきっかけ作りになると思います。皆さん、同じような悩みを抱えていることが多いので、話していると心強く感じます。また今年度は、他の支部長の方々と協力をしてより良い活動作りをしていけるよう頑張っていきたいです！

わが家のアイドル

お父さん、お母さんから一文字もらった大切な名前！



訓子府地区・実郷

遠藤 淳平くん(1歳8ヶ月)

遠藤家へ何うと、にっこり笑顔でお出迎えしてくれた淳平くん！くまのキーホルダーを持ち「っま！」と言葉もたくさん覚えている様子。好きな食べ物は白米で、ジンギスカンのラム肉やうどん、野菜も大好物ですくすく成長☆
淳平くんの名前はお父さんの名前の一文字と、お母さんの旧姓の名字から一文字を合わせて名づけられました。取材時に淳平くんは下の文字で「べい！」と呼ばれていて、家族仲睦まじい光景をみることができ、私まで幸せになりました。

最近は車に興味があるようで、体より大きいおもちゃの車を持ち上げたり乗ったりさすが男の子です。色々なことに挑戦し、出来ることがたくさん増えていきますね！

そんな淳平くんにお父さんとお母さんは、「健康で元気の淳平でいてほしい」と話してくれました。

カメラに向かってカッコよくきめてくれた淳平くん。大きくなったらまた写真撮らせてね(^-^)

淳平くんは遠藤淳さん・希美さん夫妻のお子さんです。

(大橋 弥生)

INFORMATION

ガーデニングハウス 「四季倶楽部」について 紹介します！



▲ハンドメイド作品がたくさんありますよ！



▲花や種の種類がたくさん！

JAきたみらいセンター事務所の隣に、(株)サン園芸が運営するガーデニングハウス「四季倶楽部」があるのを、皆さんご存知でしょうか？

「四季倶楽部」では種や苗、園芸用品などの販売を行っています。

また、一般の方や当JAフレッシュミズ会員が作っているハンドメイド作品の出品もしております。

ご自宅で家庭菜園を行っている、またこれから家庭菜園を始めてみようという皆さん、是非ガーデニングハウス「四季倶楽部」に足を運んでみてください！

定休日：無休（5月・6月）
日曜日（7月以降）
営業時間：午前9:00～午後5:30



JAグループ北海道は、平成31年4月12日、札幌駅・地下歩行空間で開催された「JPO1まつり」で食と農・JAの魅力伝えるスマートフォンアプリ「JA2MP（ジエイエイジャンプ）」のダウンロードキャンペーンブースを出展し、400名を超える方々にダウンロード頂きました。

「JPO1まつり」はフリーマガジン「JPO1」に掲載された企業・団体が中心となり出展するイベントで、道内から4JA・1連合会も出展しました。

「JA2MP」配信開始から2年が経ちましたが、ダウンロード総数は20,138（4/12時点）となり、2万ダウンロードを突破しました。



JA北海道中央会



JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトを「ご覧ください」。

JAグループ通信

ホクレンでは北海道内の料理人らを主な対象にした北海道ナチュラルチーズ特別セミナーを札幌グランドホテルで開催し、道内チーズ工房の生産者による講演やナチュラルチーズの特長を生かした料理の実食、盛り付けの専門家によるデモンストラクションなどを紹介し、道産チーズの魅力伝えました。

講演では北海道産チーズのレベルの高さや、それを維持していくことの大切さなどが解説され、試食会では道内工房のチーズをふんだんに使った料理レシピ5品が紹介され、ナチュラルチーズの豊かな風味がPRされました。



ホクレン



JAバンクでは、子どもたちに食や農業の大切さを理解してもらうきっかけとなることを願い、平成20年度から、食農教育等をテーマとした教材本を製作し、JAを通じて道内の小学校へ贈呈しています。今年度は、全道1,059校の小学校および特別支援学校に贈呈します。

なお、本会からは、北海道教育委員会へ教材本の贈呈を行い、教材活用への協力をお願いしました。



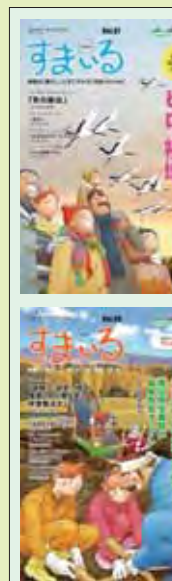
JA北海道信連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非一読ください。



JA北海道厚生連



JAのことも共済「学資応援隊」がママリコミ大賞2019春学資保険部門第1位に選ばれました。

「ママリコミ大賞」とは、ママ向けアプリ「ママリ」がユーザーを対象に「本当に買ってよかった」と思う商品・サービスについてアンケートを実施し、口コミ件数と満足度を基準に支持が多かった上位商品を紹介する取り組みです。

JA共済連は、これからもお客様にご満足いただけるように努めてまいります。

JA共済連北海道



これからも続くJAの「自己改革」

JAは、農業者と地域の皆さんのよりよい暮らしを実現するため、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標とする自己改革に取り組んでいます。正組合員に対しては約97%、准組合員に対しては約90%のJAが訪問活動を行っており、各JAが地域の組合員のニーズを踏まえて、独自の改革を進めています。

自己改革の取組内容を定めた第27回JA全国大会決議の実践期間は19年3月、政府が定める農協改革集中推進期間は19年5月で期限を迎えますが、JAの自己改革に終わりはありません。現在、全国のJAでは、JA運営や自己改革に対するご意見をお伺いするアンケート調査を実施しています。組合員に必要とされる組織となることを目指し、さらなる改革を進めます。

【農協改革集中推進期間】
(のうきょうかい、いかくしゅうちゅうすいしんきかん)
政府がJAに対して「重大な危機感をもって」改革を実行するよう要請している。14年6月から19年5月までの期間。「規制改革実施計画」(14年6月閣議決定)に定められている。

訪問活動の取り組み状況 (対象者別)

対象者	取り組み状況 (%)
正組合員	96.9%
准組合員	90.1%
地域住民 (組合員以外)	79.6%

自己改革・農協改革のスケジュール

年度	主要な取り組み
2017	農協改革集中推進期間
2018	農協改革実施状況の調査
2019	JA全国大会 第27回
2020	JA全国大会 第28回
2021 (年度)	3月末 改革の実施状況を確認・検証・総括

「創造的自己改革」への挑戦

実施結果を踏まえてさらなる取り組みを検討・実施

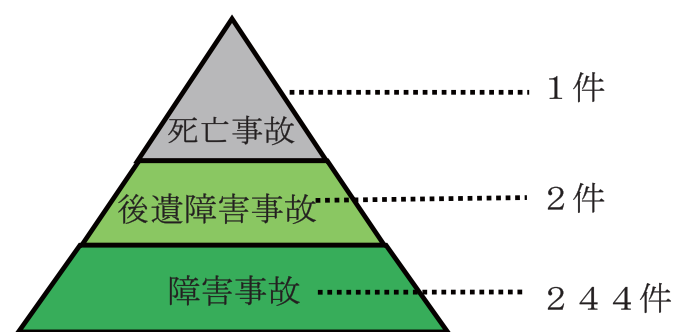
耕そう。大地と地域の未来。

INFORMATION

農作業事故ゼロへ！

重大な事故が起されば今後の生活に大きな影響を与え、農業の継続が困難になることもあります。いま一度、農作業時には注意や対策、確認を心掛けて下さい。

※農作業事故の全体像（JAきたみらい）



3年間の農作業事故発生件数 247件

	H30	H29	H28	合計
4月	11件	6件	3件	20件
5月	12件	8件	9件	29件
6月	7件	6件	5件	18件
7月	6件	4件	9件	19件
8月	7件	12件	12件	31件
9月	14件	17件	10件	41件
10月	8件	9件	12件	29件
11月	6件	3件	6件	15件
12月	5件	4件	2件	11件
1月	2件	2件	1件	5件
2月	2件	3件	5件	10件
3月	7件	3件	9件	19件
合計	87件	77件	83件	247件

※農作業事故の月別発生状況（JAきたみらい）

きたみらい管内 農作業事故発生状況

きたみらい管内の過去3年間（H30～H28）の農作業事故は、**247件**発生しています。

月別の発生状況を見ると**春の植付作業、秋の収穫作業**に集中しています。

特に、機械作業時の事故が全体の2割を占めており、3年間のうち死亡事故が1件、後遺障害事故が2件発生しています。

まだまだ農作業が続くと思います。ゆとりある作業計画を立て、安全確認の徹底をはかり、農作業事故ゼロを目指しましょう。そして、家族や地域の仲間とともに、健康で笑顔が溢れる豊穡の秋を迎えましょう！！



▲開会挨拶を行う西川組合長



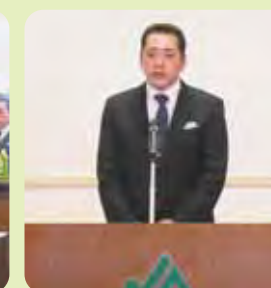
▲出席したご夫婦の皆さん

JAきたみらいは4月2日、センター事務所で平成30年度に結婚した後継者及びパートナーを対象とした「新婚さんの集い」を開催しました。当日は平成30年度に管内で結婚した16組のうち、7組14名が出席。開催にあたり、西川組合長は「これからの生活のなかでも、春の植え付けなど農繁期を迎えますが、なかなか一緒に食事ができないことも多いかもしれません。だからこそ、なるべくふたりで一緒に食事をする時間を作り出して、その時間を大切にしたい」と話しました。

もらいたいと願っております。」と激励の言葉を送りました。その後、常勤役員やフレッシュミズ役員を交えて昼食をとり、お互いの農業に向けた思いや夫婦の馴れ初めを話し合うなど交流して、仲間づくりを行いました。JAきたみらいフレッシュミズの仲山美知会長は「これからも同じ地域の農業者として、よりよい営農や地域の活性化を目指していきたい」と話し、フレッシュミズ活動を紹介したうえで、地域の新しい仲間に加わりを呼びかけました。



▲感謝状を受け取る
大橋五代部長



▲謝辞を述べる
山内初代部長

4月3日に訓子府地区事務所できたみらい酪農青年部の設立10周年記念式典が行われ、部員や来賓合わせて52人が参加しました。同部は平成21年4月に地域の垣根を超えた広域の酪農青年組織作りを目指して設立されて以降、部員間の交流や酪農経営知識の獲得を目的に視察や学習会を行っています。



▲歴代部長と実行委員
前列左から、大橋保登士五代部長、粕 憲彦三代部長、山内 誠初代部長、小山勇樹第二代部長、佐藤 猛第四代部長

式典では5人の歴代部長へ感謝状と記念品が贈られました。山内誠初代部長からは謝辞として設立時の思いや現部員に対する感謝と期待の言葉が送られました。11年目を迎える同部は、今年度の活動として道内視察研修や部員交流会などを行っていく予定です。

「新婚さんの集い」を開催 新婚激励会に7組14名が出席

きたみらい酪農青年部 10年の歩みを祝う

第3回 理事会報告

4月22日、午前8時30分より第3回定例理事会が開催され、報告事項8件、決議事項7件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

①令和元年度監事監査計画について

②内部監査（経営定期点検）報告について

③組合員状況報告について

④財務状況報告について

⑤人事の発令について

⑥H30年産馬鈴しょ・玉ねぎの選果販売状況について

⑦購買部門の連休対応について

⑧令和元年度理事に対するクミカン貸越極度額の設定に係る報告について

【決議事項】

①出資減口について

②固定資産の取得について

③外部出資金の増口について

④行政庁に対する業務報告書について

⑤役員退職慰労引当金の取崩し及び退職慰労金の支給について

⑥理事報酬の配分について

⑦理事に対する資金の貸付について

お詫びと訂正

先月号（195号）のおひさまサラダで、誤りがありましたので次のとおり訂正し、深くお詫びいたします。

P10「お互いの好きなところは？」と「お互いへの感謝の言葉」のそれぞれの誠さんと弘江さんの言葉が逆になっていました。

退職のお知らせ

平成31年4月12日付と4月30日付の退職職員をお知らせします。

旧JA入職年度と合併後の職歴、正職員としての在職期間（旧JA含む）を紹介します。

在職中は、組合員皆様を始め、地域皆様の御厚情をいただき誠にありがとうございました。

野口和寿

のぐちかずひさ

野口和寿

（営農振興部企画振興グループ）

H04.04.01

H15.02.01

H18.06.10

H19.05.01

H21.06.01

H25.05.01

H26.05.01

H28.04.01

H28.08.01

■在職期間

27年1ヵ月

H04.04.01

H15.02.01

H18.06.10

H19.05.01

H21.06.01

H25.05.01

H26.05.01

H28.04.01

H28.08.01

■在職期間

27年1ヵ月

若井楓

わかい

かえで

若井楓

（畜産部畜産相談グループ）

H28.04.01

H28.04.01

H31.04.01

平成31年4月12日付

退職

■在職期間

3年

H26.04.01

H26.05.01

H28.04.01

H31.04.01

■在職期間

5年1ヵ月

坂本竣哉

さかもとしゅんや

坂本竣哉

（経営支援部技術開発グループ）

H26.04.01

H26.05.01

H28.04.01

H31.04.01

■在職期間

5年1ヵ月

H26.04.01

H26.05.01

H28.04.01

H31.04.01

■在職期間

5年1ヵ月

PAリミテッド

ボディカラー

白

シルバー

ブラック

PCリミテッド

ボディカラー

白

シルバー

ブラック

動く人を応援する

EVERY

特別パッケージ

特別主要装備

電子キーレスエントリー（パッドラングアンサーバック付）

スモークガラス（リアドア、クォーター、バックドア）

先進の安全技術装備搭載

衝突被害軽減ブレーキ

誤発進抑制機能

エマージェンシーストップシグナル

ESP*

ESP-Electronic Stability Program

希望小売価格（税込）

EVZ-LJ2 5AGS

120.8万円

希望小売価格（税込）

EVZ-LJ2 5AGS

129.8万円

さらに特別装備アクセサリ（8点）をセットでプレゼント！！

フロアマット（2枚）

リアマッドフラップセット

ドアバイザー

シガーライター

ラグジマット（合成ゴムタイプ）

スノーブレード

ルームライト（高輝度LEDタイプ）

バックドアルームランプ

産業廃棄物運搬車の表示が義務化されております

※注意事項

●農耕用廃タイヤ、ビニールホースの回収は秋に行います。

本年の廃プラ回収につきまして、次の日程で行います。受入日時・場所や排出区分など確認の上、持ち込み願います。

なお、未洗浄農薬空容器は再生処理ができないため、**洗浄済みのものと比べ約10倍の処理費用が掛かります。**空容器、空袋は洗浄して排出をお勧めします。

○受入区分

・農ビ類

・農ポリ類

・未洗浄農薬空容器

○受入時間

・午前 9:30～12:00

・午後 13:00～15:30（訓子府 16:00）

日程

受入場所

6月4日（火）

西相内小麦乾燥貯蔵施設

6月5日（水）

西相内小麦乾燥貯蔵施設

6月11日（火）

温根湯選果施設

6月12日（水）

置戸堆肥センター

7月4日（木）

端野選果施設

7月5日（金）

端野選果施設

7月9日（火）

訓子府選果施設

※6月4日・5日の西相内小麦乾燥施設は全地区の受入が可能です。

農業用廃プラ回収のご案内

6月4日から各地区で

米森弘さん(青年部)がJA道青協役員に

黒須倫子さん(女性部)、大橋加奈子さん(フレッシュミズ)が

JA道女性協役員に選任！！

この度、当JA青年部の米森弘さんが4月4日に開催されたJA北海道青年部協議会総会で副会長に選任されました。また、当JA女性部の黒須倫子さんは4月3日のJA北海道女性協議会通常総会で副会長に選任、当JAフレッシュミズの大橋加奈子さんが3月8日開催の新旧代表者会議でJA北海道女性協議会フレッシュミズ部会の会長に選任されました。

当JAから3人が北海道の役員として選出され、西川組合長からは「きたみらい地域から3人が、同じ時期に役員になることはとても喜ばしい。きたみらいの代表としてぜひ頑張ってもらいたい」とメッセージが送られました。

【詳しい役職については以下の通り】

米森弘さん(北見)＝JA北海道青年部協議会副会長

黒須倫子さん(北見)＝JA北海道女性協議会副会長

オホーツクJA女性協議会会長

大橋加奈子さん(相内)＝フレッシュミズ全国交流集会 実行委員

JA北海道女性協議会フレッシュミズ部会会長

オホーツクJA女性協議会フレッシュミズ部会会長

写真左から大橋さん、米森さん、黒須さん

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。
間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

出題・イラスト：酒井栄子

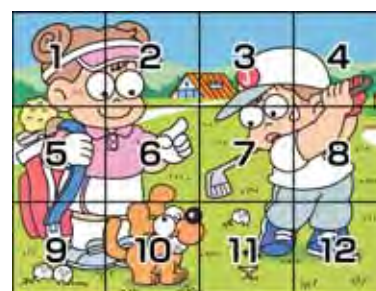


4月号まちがいさがしの当選者

4月号のまちがいさがしの答えは「4、5、6、9、11」でした。正解者48名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

- () 内は地区名
- ・米森 慶史さま (北 見) ・鉄地河原和子さま (北 見)
 - ・坂井八重子さま (端 野) ・松下千枝子さま (端 野)
 - ・坂下みちるさま (留辺蘂) ・森谷 美空さま (置 戸)
 - ・高橋美智子さま (相 内) ・斉藤 円香さま (訓子府)
 - ・小坂 正枝さま (訓子府) ・平塚 真子さま (訓子府)

以上の方々には、JAきたみらいの「麦まるごとうどん」3袋をプレゼント致します。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・感想を記入してFAXでご応募下さい。

抽選で10名の方に、JAきたみらいの「玉葱と牛すじカレー」2箱をプレゼント致します。

今日は今年一番の暑さ。でもまた寒くなりますよ。体調には気を付けて、野菜と花作り今年もがんばりまーす。

(相内地区 高橋 美智子さん)

4月17日、7月上旬並みの暑さとなりましたね。昼間と夜の寒暖差が大きな時期なので、体調管理はしっかりしましょう！今年も美味しい野菜ときれいな花たちをよろしくお願いします。

4年生になって、ますます卓球をがんばります！

(留辺蘂地区 村上 蓮さん)

卓球の大会でいい成績をとれるように練習をがんばってね！
勉強も忘れずに！(^ - ^)

今年も始まります。就農2年目、頑張ります。

(置戸地区 齊藤 悠也さん)

今年もいよいよ始まってきましたね！
まだまだ覚えることもあると思いますが、焦らずゆっくりがんばっていきましょう！

今年からお姉ちゃんと一緒に、自転車で学校に通います。

でも風の強い日はいやだなあ。

(留辺蘂地区 坂下 みちるさん)

自転車と一緒に通学、楽しみですね！
自転車で登下校の時には、車や歩行者に気を付けてくださいね。

風の強い日は、歩きか車で登校の方が安全だね(^ u ^)

読者の声

VOICE



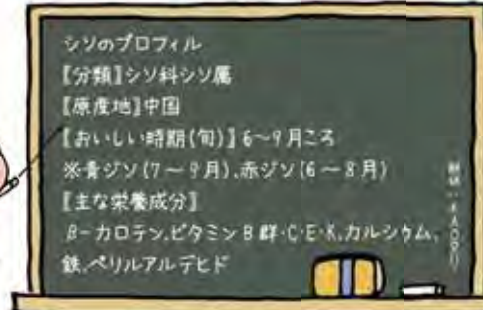
シニア野菜ソムリエ
kAORUの

ベジタブル ライフ

イラスト：小林美穂

シソ

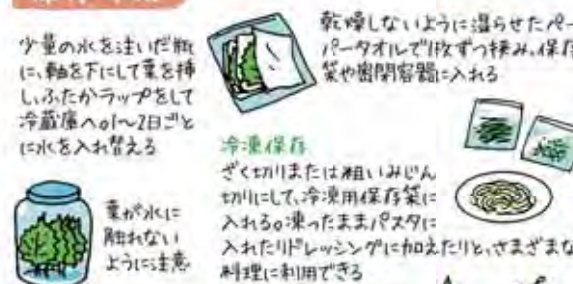
～すがすがしい香り。和のハーブ～



見分け方



保存方法



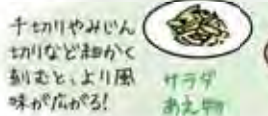
シソのチカラ



楽しみ方・食べ方のコツ

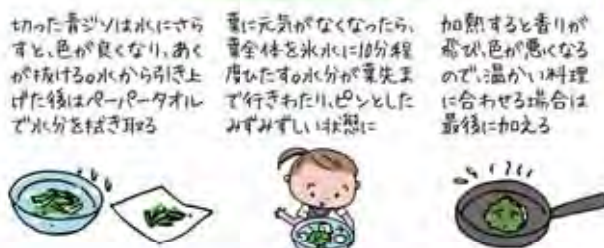
日本の代表的なハーブ

香り成分による防腐・殺菌作用を生かし、刺身のつまをはじめ、いろいろな料理に風味をプラス



お肉や魚に巻いて焼き物や揚げ物、蒸し物に使う場合は葉をそのまま生かして、天ぷらは切らずに片面だけ末を絡めてサクッと揚げると良い

特徴の香り・持ち味



シソのいろいろ



シソの由来





COOKING

♥おいしいもの大好き!♥



ゴボウとレンコンのキーマカレー



◆ 材料 (3人分) ◆

A	レンコン ……1節	B	かつおだし ……2カップ
	ゴボウ ……1/2本		カレー粉 ……大さじ1と1/2
	合いびき肉 ……200g		おろしショウガ ……小さじ2
	ニンニク ……1片		さんしょう ……小さじ1
	ご飯 ……3膳		塩 ……小さじ1と1/2
	目玉焼き ……3つ		トマトピューレ ……大さじ3
	サラダ油 ……適宜		砂糖 ……大さじ1/2
			みりん ……大さじ1/2

◆ 作り方 ◆

- ①レンコン、ゴボウは1cm程度のさいころ切りにして酢水（材料外）にさらす。ニンニクはみじん切り。
- ②深めのフライパンにサラダ油をひき、Aを炒める。
- ③②に混ぜ合わせたBを入れ水気がなくなるまで煮込む。
- ④器にご飯と③を盛り付け、目玉焼きをのせて出来上がり。飾りに葉ニンジン（材料外）を添える。

カツオのサラダ仕立て



◆ 材料 (3人分) ◆

カツオ ……1冊	掛けだれ
ルッコラ ……1束	ダイコンおろし ……大さじ2
ダイコンつま ……適宜	ポン酢 ……大さじ4
キュウリ ……1本	おろしショウガ ……小さじ1
長ネギ ……1/2本	おろしニンニク ……少々
漬けしょうゆ	オリーブ油 ……小さじ2
しょうゆ：みりん ……1：1	

◆ 作り方 ◆

- ①カツオはそぎ切りにして、漬けしょうゆに5分ほど漬ける。
- ②ネギは白髪ネギにして、ルッコラ、ダイコンつまと混ぜ合わせ、器の中央に盛り付け、①のカツオの周りに並べる。
- ③掛けだれを回し掛け、薄切りにしたキュウリを散らして出来上がり。

ポイント

飾りにアマランサス（材料外）を散らし、ネギとルッコラ、ダイコンつまの混ぜ合わせを少し取っておき、中央に盛り付けると彩りも良くなる。

※献立を監修した人※ 茨城県笠間市にある「キッチン晴人（ハレジン）」オーナーシェフ 永井 智一（ながいともかず）

編集後記

- ・5月になり新元号「令和」がスタートしました。元号の由来に安倍首相は「希望に満ち溢れた新しい時代を切り開き、一人ひとりが大きな花を咲かせることができる日本でありたい」という願いを込めて選ばれたそうです。今年の第16回通常総代会において新たなステージへと向かうことになった「きたみらい農協」。希望に満ち溢れた時代になることを節に願うものです。
- ・さて、気温の寒暖差も激しく体調を崩されてはいませんか？ 植え付け作業も終盤に差し掛かっていることかと思ひます。体調には十分気を付けて、農作業事故が多い時期でもありますので、焦らずゆっくりと気を抜かないよう作業して下さい。（大石 友和）

JAきたみらい概要

（平成31年4月12日現在）

- ・組合員数（正） 1,654人
- ・組合員数（准） 6,390人
- ・組合員戸数（正） 981戸
- ・貯金 108,817百万円
- ・貸出金 11,346百万円
- ・出資金 4,855百万円